

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月17日(2020.9.17)

【公開番号】特開2020-116210(P2020-116210A)

【公開日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2019-10739(P2019-10739)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月12日(2020.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であるとともに、前記有利状態に関する設定値を設定可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記示唆演出として、前記有利状態に制御されることを報知する特別示唆演出を実行可能であり、

前記特別示唆演出は、第1特別示唆演出と該第1特別示唆演出と異なる第2特別示唆演出とを実行可能であり、

前記有利状態に制御されるときに、前記特別示唆演出の実行割合が設定されている設定値に応じて異なる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段1に記載の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御可能であるとともに、前記有利状態に関する設定値を設定可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出(例えば、チャンスアップ演出)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120が図9-2に示すチャンスアップ演出決定処理を実行した後に可変表示中演出処理を実行する部分)を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記示唆演出として、前記有利状態に制御されることを報知する特別示唆演出を実行可能であり(例えば、演出制御用CPU120がチャンスアップ演出をパターンCU-3やパターンCU-4で実行する部分)、

前記特別示唆演出は、第1特別示唆演出と該第1特別示唆演出と異なる第2特別示唆演出とを実行可能であり（例えば、演出制御用CPU120がチャンスアップ演出をパターンCU-3とパターンCU-4とで実行可能な部分）、

前記有利状態に制御されるときに、前記特別示唆演出の実行割合が設定されている設定値に応じて異なる（例えば、図9-4（A）に示すように、可変表示結果が大当たりであることにもとづいてチャンスアップ演出の演出パターンを決定する際に、パチンコ遊技機1に設定されている設定値に応じてパターンCU-3に決定される割合とパターンCU-4に決定される割合の合計が異なる部分）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、有利状態に制御されることを報知する特別示唆演出の実行割合によって遊技機に設定されている設定値を遊技者に対して示唆することができるので、示唆演出の興奮を向上できる。